

舞臺共立會  
官業勞働總同盟

(島田良花、安久在太郎、宮川哲次)

八幡同志會

(浜崎文作、樋口盛基)

小倉章正會

(大平吉三郎)

向 上 會

(藤田寛十郎、川村保太郎)

大塚煙草勞働組合

(比井安太郎)

名古屋向上會

(西津宇吉)

東京官業  
勞働組合

(後田善壽、宮澤竜造)

日本勞働總同盟

運友同志會

(石塚幸次郎)

日本縫工組合

(松岡駒吉)

單獨組合

共同研究會

(鵜田重太郎、佐保実)

二

九月二十五日。午前中各團體代表者の議事進行に關する打合せ會あり  
採決は組合員數を以て計算すること、し小委員數は海軍聯盟五名、  
官業勞働三名其の他二名と一正午より本會會議に入る。

海軍聯盟中央委員久能寅夫の開會の辭に始まり同主事山本竜  
二の経過報告あり、議長に毎拜堂共立會會長島田良花、副議長に官  
業總同盟の比井保太郎を推し、議長は書記を任命し各團體の提出  
議案(十七件)を朗讀せしめ、議長指名で柏原松次郎外九名の  
議案採扱委員會に付議し休憩後同委員會は議案審査議の  
便宜上議案を甲乙二委員會に附託すること、し議長より委員を  
指名した。

甲議案(甲委員會柏原松次郎外九名)

- 一、共済組合の管理に組合員を參與せしむる目的を以て法人とする事。
- 二、出勤途中傷害に關する件